

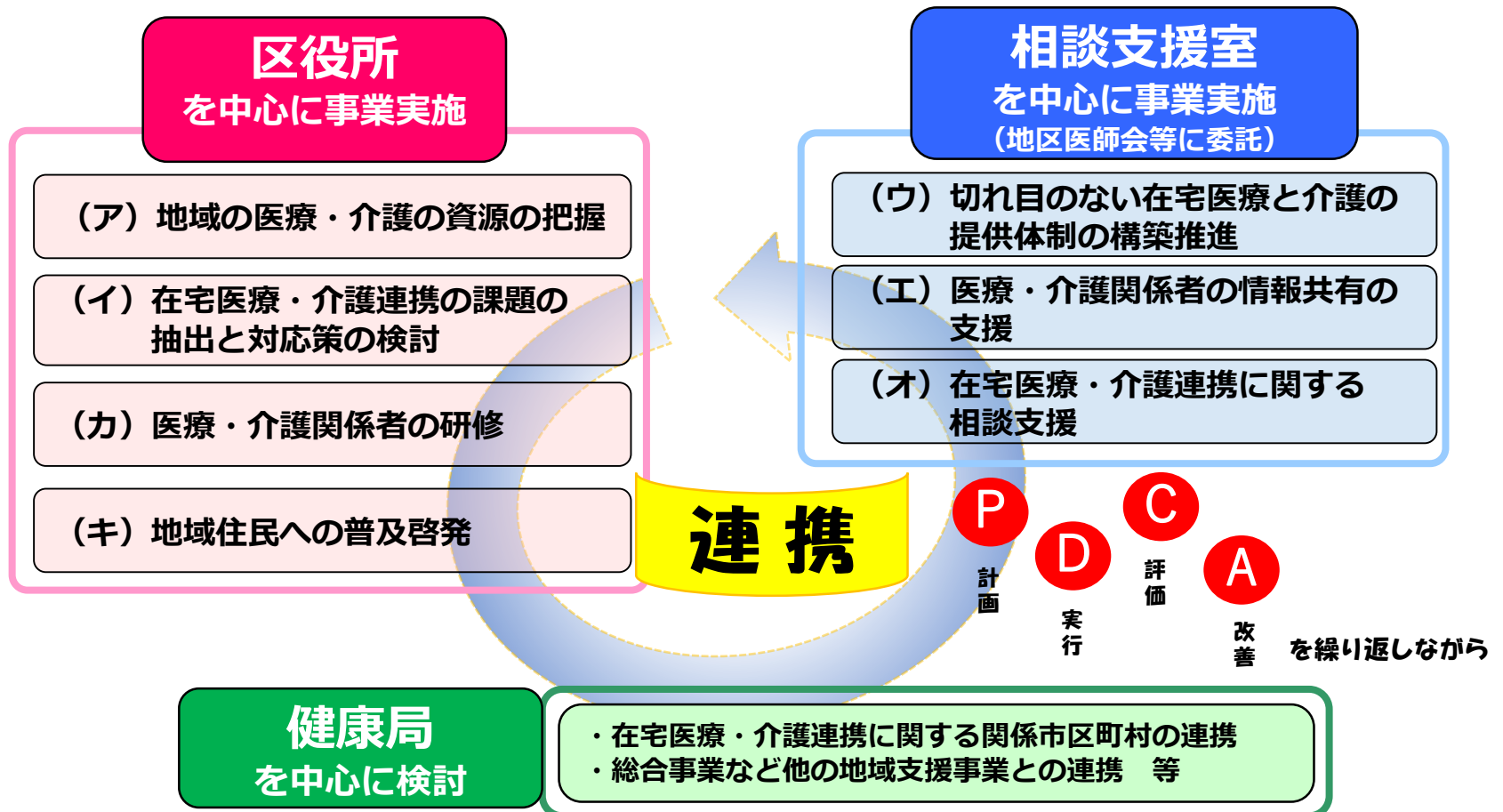
令和 4 年度

**区役所・相談支援室の
取組みについて**

在宅医療・介護連携推進事業～大阪市の取組み～

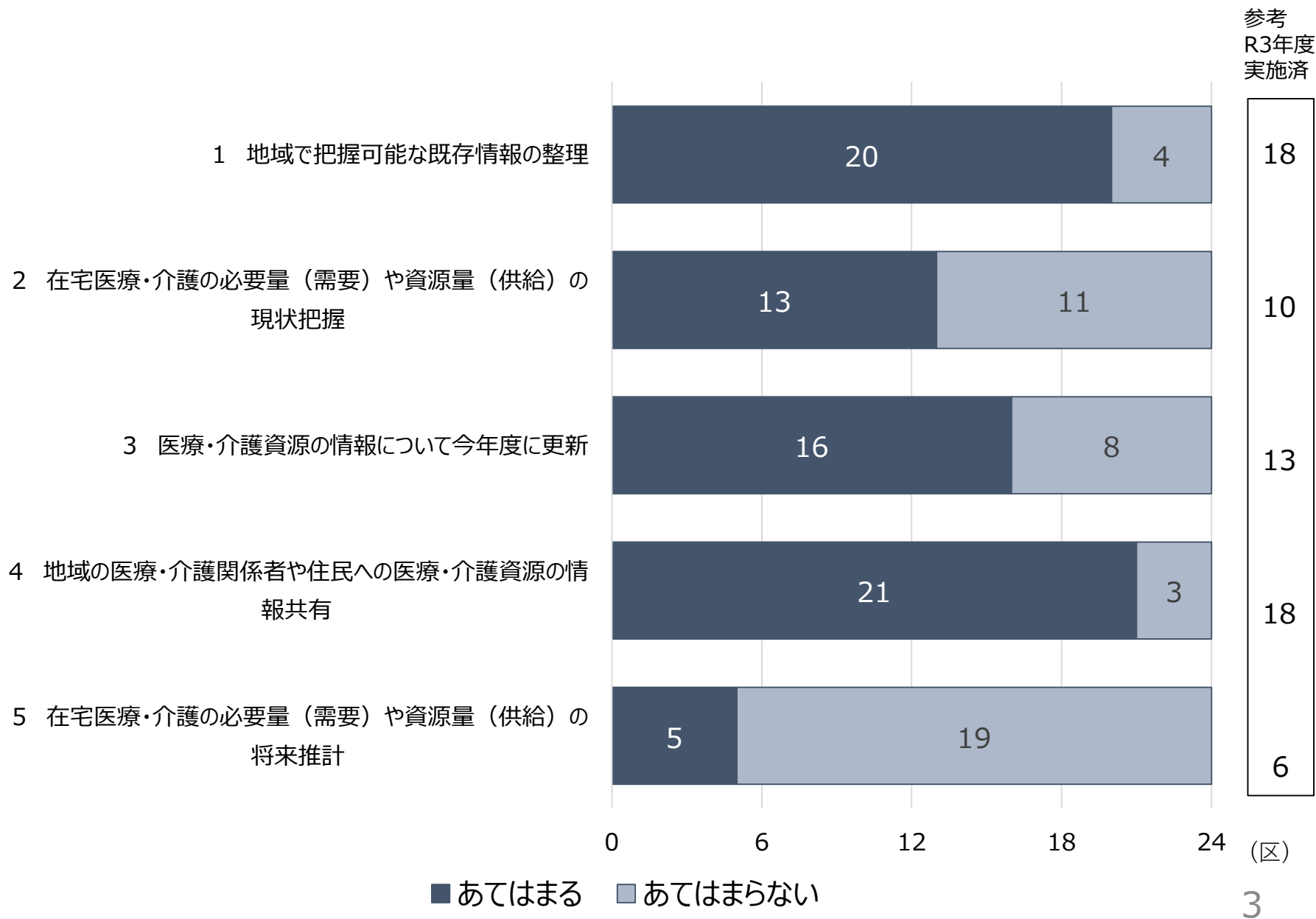
在宅医療・介護連携推進事業大阪市の取組み体制

～ 「PDCAサイクルに沿った取組項目」 ～



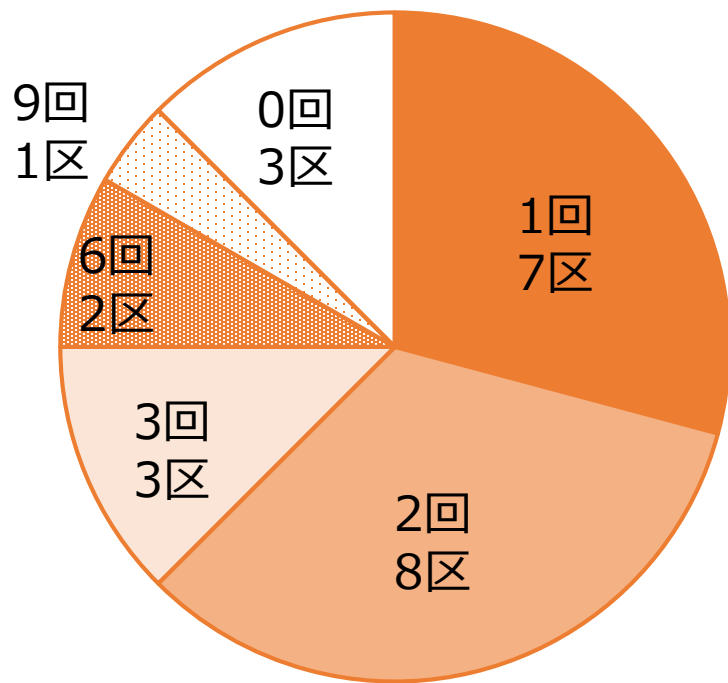
I . 区役所の取組み

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握



(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

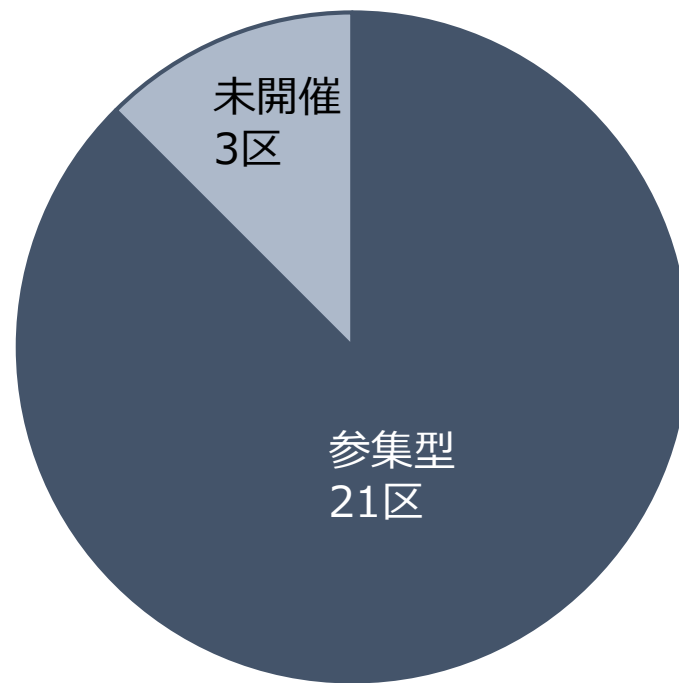
事業の進捗や課題について協議した回数



【開催した区数について】

令和3年度：17区
⇒令和4年度：21区

会議の開催方法



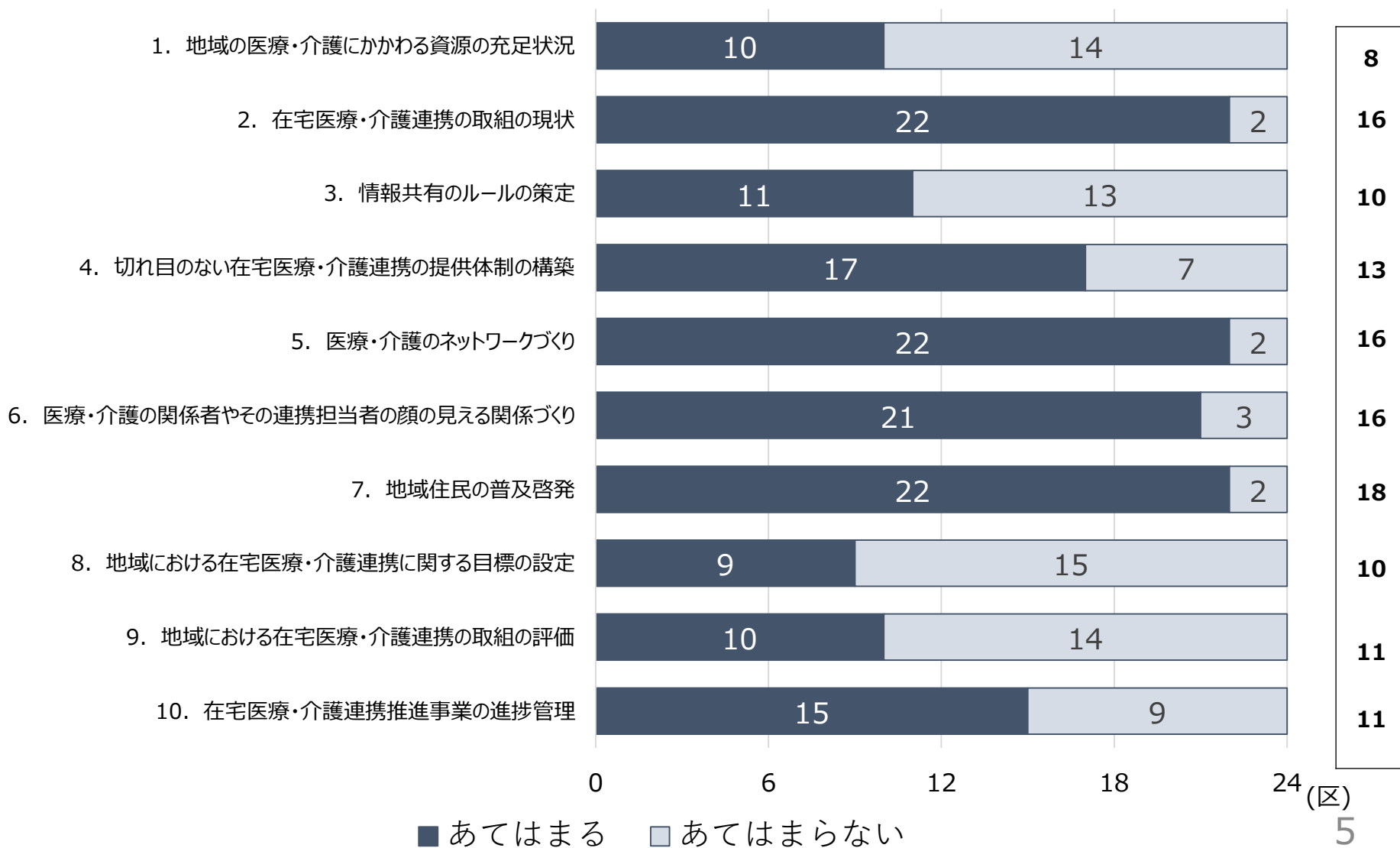
【参集型で開催した区数について】

令和3年度：6区
⇒令和4年度：21区

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

推進会議（ワーキング含む）で検討した内容

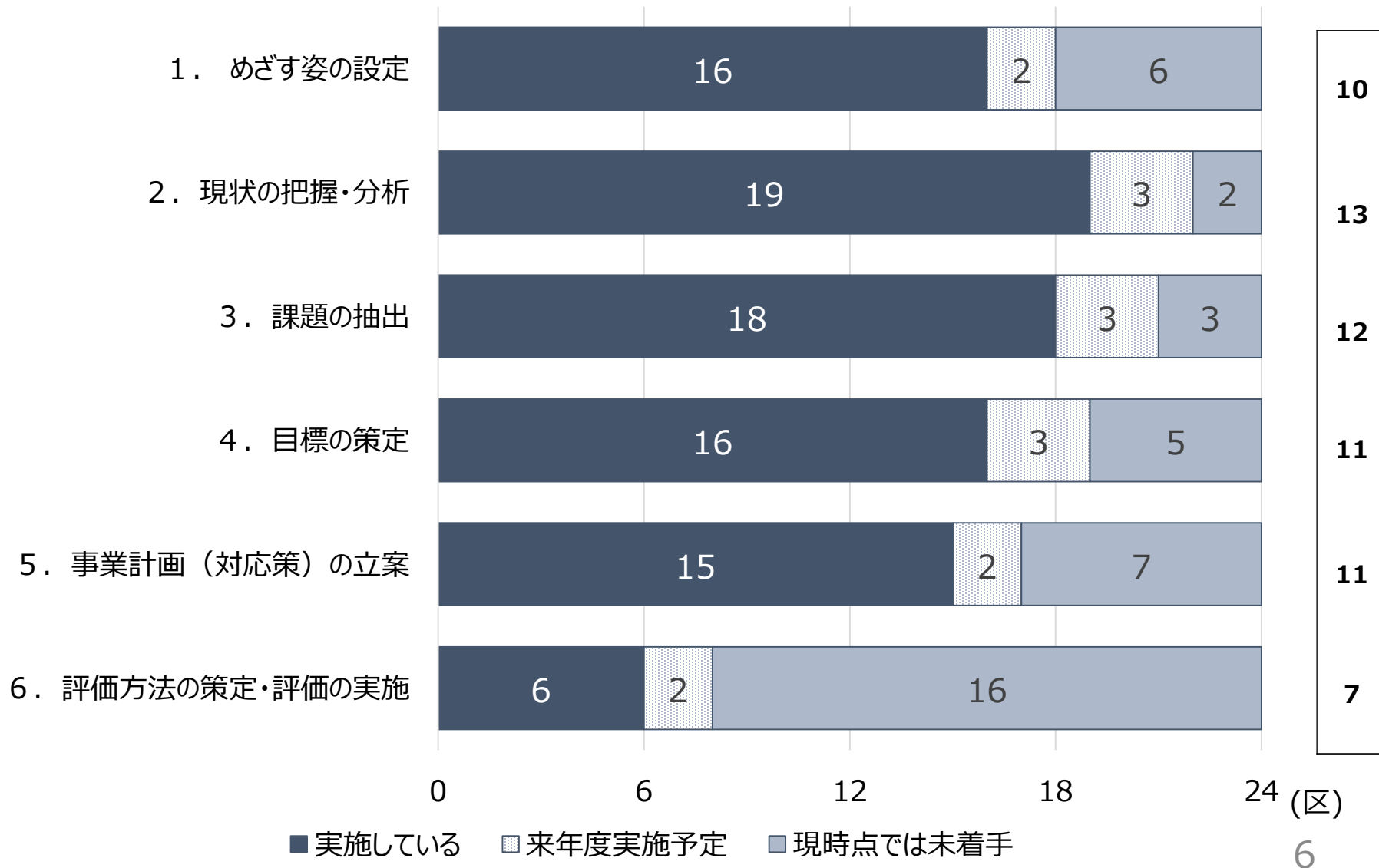
参考
令和3年度
検討済



(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

PDCAサイクルでの事業の進め方

参考
令和3年度
検討済



(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

【具体例】

1. 目指すべき姿 の設定

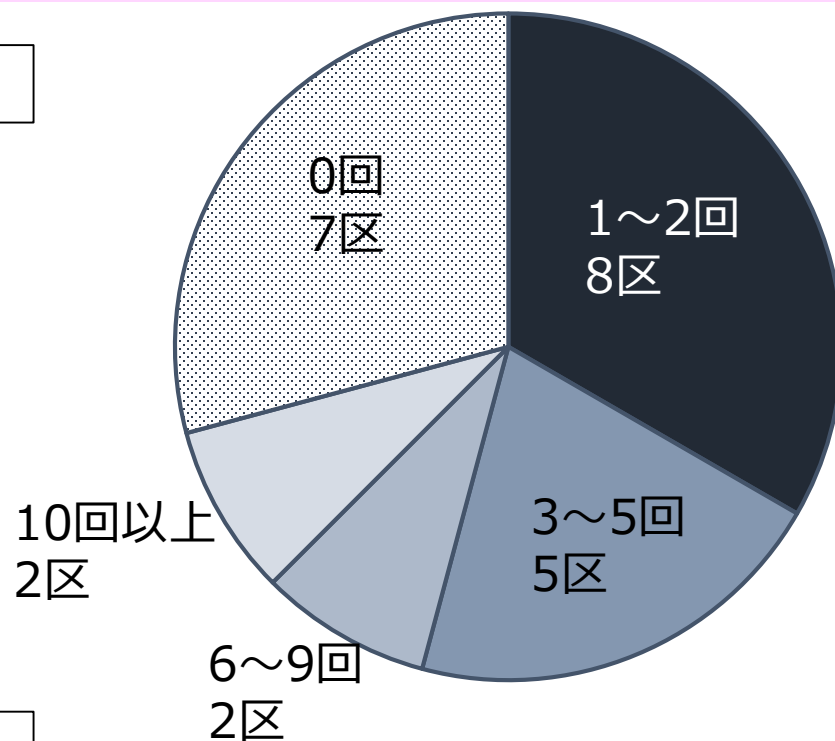
- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、多職種協働により在宅と介護を一体的に提供できる体制が構築されている
- 在宅医療・介護連携の推進に向けた、医療機関と介護関連事業者等との「顔の見える関係」を構築できている状態および区民が住み慣れた地域で希望する医療・介護サービスを選択できる状態
- 健康危機に強い地域包括ケアシステムを目指して、通えない患者を支えるため、医療と介護が連携する

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

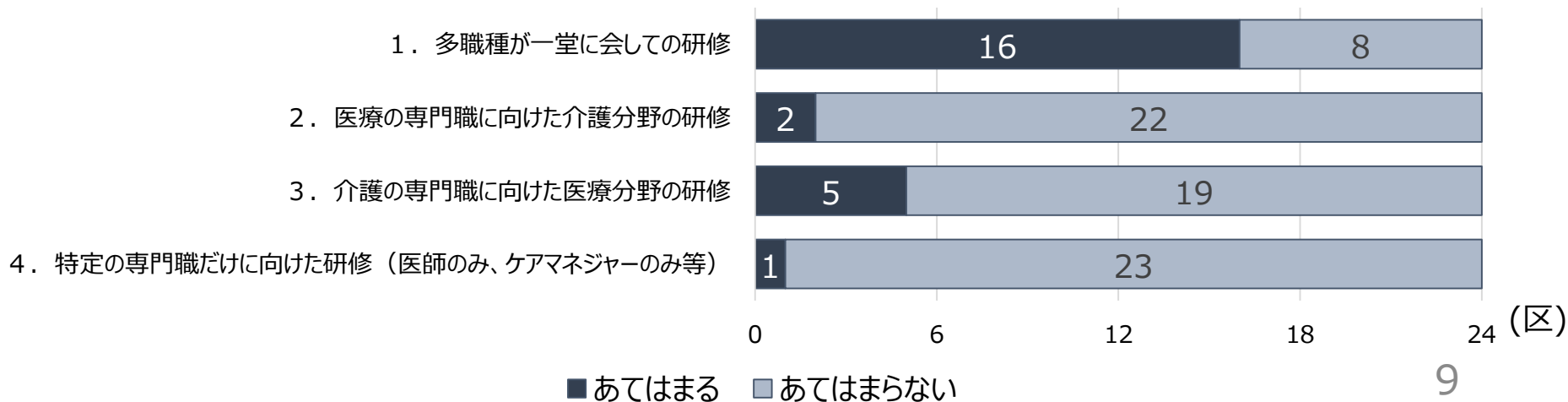
	3. 課題の抽出	5. 対応策の立案
#1	医療・介護の専門職同士の顔の見える関係づくりなど多職種連携の強化	- 医療介護連携ネットワーク会議の定期開催による情報共有、連携強化 - 多職種研修会の開催による関係者のスキルアップ、多職種間の連携強化など
#2	区役所とコーディネーターとの連携	区役所担当者とコーディネーターが定期的（2か月に1回程度）に意見交換・打合せの会議を開催し、十分な意思疎通を諮る
#3	「人生会議（ACP）」の普及啓発など在宅医療に関する住民啓発	- ACPの認知度に関する市民向けアンケートの実施 - いい看取りの日に合わせACPに関する講演会の開催 - 区広報誌やリーフレットの配布による周知啓発
#4	介護家族への支援策	地域包括支援センターやケアマネジャーなどに相談することを啓発する目的で啓発動画を作成

（力）医療・介護関係者の研修

研修会の実施回数



研修会の対象者



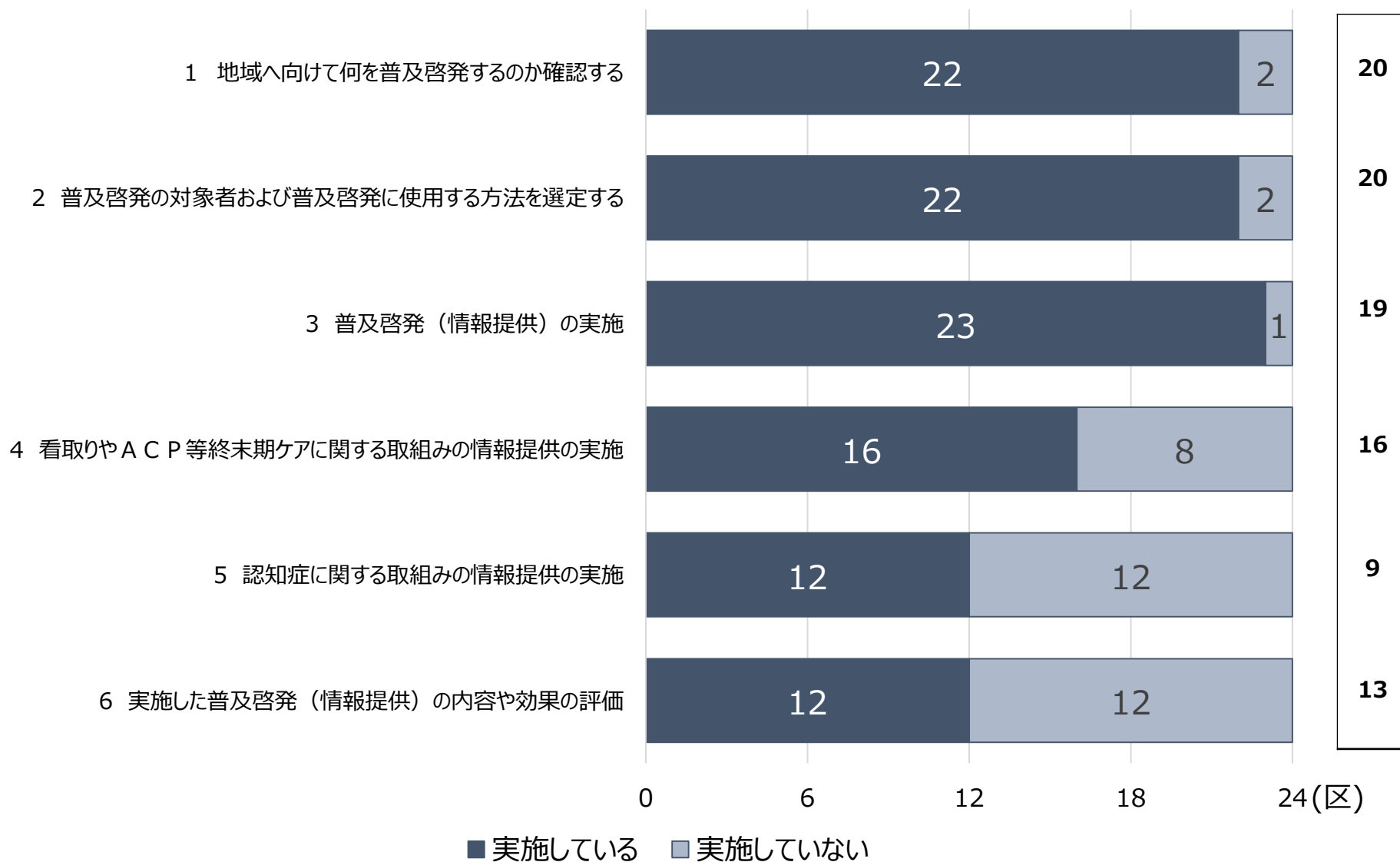
(力) 医療・介護関係者の研修

研修会のテーマ

ACP	・ 終末期に備えた意思決定支援ACP（人生会議、在宅医療と人生会議について） ・ 「あなたがもしもの時は」カードゲームで考えてみよう ・ 認知症の人とともにACPを考える ・ 意思決定支援（ACP）普及推進サポーター養成講座
認知症	・ 認知症の方の生活の中での意思決定支援 ・ 認知症がなかなか受容できない家族の支援について ・ コロナ禍2年、地域医療における認知症への影響
医療	・ 多職種で支える 脳卒中の方の暮らし ・ 歯周病と全身疾患とのつながり、訪問歯科に繋ごう ・ 入退院を繰り返す心不全患者の連携を考える
食生活	・ 食べることは生きること研修会「歯科医師・歯科衛生士編」 ・ 食べることは生きること研修会「薬剤師編」
連携ツール	・ 情報が届かない人に必要な情報を届けるために自分たちは何ができるか
その他	・ 災害時における多職種連携 ・ 在宅医療における感染対策とKISA2隊の活動から見てきたこと

(キ) 地域住民への普及啓発

令和3年度
実施済



ひがしなりだより

9月号 No.316

9月は高齢者福祉月間です

人生会議 してみませんか？

～私のおもいを伝えたい～

「人生会議」は、大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。

1. 人生会議とは？
2. 人生会議の目的
3. 人生会議のメリット
4. 人生会議のデメリット
5. 人生会議の進め方

豊かな人生のためには

みなの

2月号 No.321

人生会議

～アドバンス・ケア・プランニング(ACP)～

「人生会議」は、大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。

「人生会議」は、大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。

ひがしよどがわ

2月号 No.321

認知症

認知症予防を運動で予防する

認知症予防プログラム「コグニサイズ」をやってみよう！

認知症予防プログラム「コグニサイズ」をやってみよう！

認知症予防プログラム「コグニサイズ」をやってみよう！

ふれあい JOTO

9月号 No.316

人生会議

人生会議とは、大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。

人生会議とは、大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。

人生会議

人生会議とは、大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。

人生会議とは、大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。大切な人との将来の暮らしや介護のありかたについて、事前に話し合っておくこと。

11月30日は「人生会議」の日！

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の愛称で、もしものときのため、自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて前もって考え、家族や周囲の信頼する人たち、医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

「人生会議」について、より多くの方に知っていただくため、講演会を開催します。

日時 11月30日(水) 14時30分～16時

場所 区民センター 小ホール

講師 北田 博一氏(医療法人共済会北田院長 院長)
佐藤 貴之氏(調剤薬局「調剤薬局」代表取締役 代表取締役)

対象 市内在住・在勤の方 定員 100名(当日先着順)

問合せ 保健福祉課(健康づくり) 1階11番 ☎6915-9882

研修会・講演会

A Memory of Tomorrow

命ある瞬間はなぜ同じではないのだろうか？
 医師とのコミュニケーション医療現場へ臨む。

大正区在宅医療介護連携推進事業 しぶんのことおやのことファミリーラム大正2019年2月

そのほか、数多くの制作スタッフも参加。

いのちの停車場

あなからんし。
わたしらんくきでいてために
重なりを疑似体験しACPRについて考えましょん。

VR看取り体験研修会

2023.1.31 (火)

14時～16時 (開場：13時半)
福島区役所 6階 大会議室

【対象】 医療・介護関係者 (看取りの理解を深めたい専門職)
【内容】 看取りをVRで疑似体験して看取りACPRについて考えます。

ACPR

看取りが医療やケアに与える影響について話し合い、参加者の理解を深めようとする取り組み

定員
50名



【お問合せ】
090-8533-5344 (info)
090-8317-3950 (info)



【主催】 福島区医師会 在宅医療・介護連携相談支援室

[illegible]



もしもの時に伝えたいこと

「もしも」の時のために、ご自身の思いを周りの人たちに
伝えるためのノートを準備してみませんか？

令和5年2月8日 水 13:30～15:00

場所 都島区保健福祉センター分館
2階 健康増進ホール

講師 いんべ診療所 恩部 周 先生

定員 20名（申込要・先着順）

申込期間 1月10日（火）～1月31日（火）



講演会のお知らせ

～自分らしく
生きていくために大切なこと～

参加費無料
申し込み不要
定員 150名
(先着順)

[日時] 令和5年 3月4日(土)
14:00~16:00

[会場] 阿曾野区役所 2階大会議室
(阿曾野文庫の裏1-1・40)

※お車でのご来場をご希望の方はお問い合わせください。

在宅医療・介護についての講演会

「アドバンス・ケア・プランニングを一緒に学びましよう。」
(講師：愛知県立リハビリテーション学院内務学部長 池本 昌之先生)

池本 昌之（いけもと まさゆき）先生プロフィール
地方大学で社会福祉学専攻の准教授として勤務。家族関係、障害者権利意識向上活動、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み等について専門的知識と実践経験を有する。
日本看護学会認定看護師、日本在宅療養支援診療所理事、日本在宅療養推進協議会代表理事、日本在宅療養支援センター運営委員など。

注 記
※当日は予約が満席の場合、介護保険制度委員会、市民生活部医政課、社会福祉司研修所、阿曾野区民協会の各団体から抽選により、一部追加募集を実施します。併せて当地区民センター、阿曾野保健センター、阿曾野公民館、阿曾野小中学校等に案内状を送付いたしますので、必ずご確認ください。

お問い合わせ先 阿曾野区健康福祉センター（地域保健課） TEL 06-6822-9882

入場無料

生野区

認知症・在宅医療 シンポジウム

～みんなで取り組み・支え合う～

認知症になっても、病気の症状になっても、生活の質を高め支え合おう
認知症・在宅医療の現場に、みんなで支えあふ取り組みをつくる一歩
をてとめませんか？



日時 **令和 5 年 3 月 11 日** (土)

14:00～16:30 (開場13:30)

場所 **リゲッタ IKUNO ホール(生野区民センター内)**

※ 無料です。予約制のため参加の申し込みが必要です。

定員
300人

観覧希望

第1部

シンポジウム「コロナ禍での生野区の認知症取り組み報告」

生野区医師会 生野区医師会連合会 生野区認知症対策推進委員会

第2部

講演会「マスク社会の今だからこそ！お口のケア」

【講師】大阪府歯科衛生士会 会長 山口千重子

**在宅医療・介護連携推進事業
多職種連携の為に研修会**

演題

平時からのつながりと福祉防災

講師

大阪公立大学 都市科学・防災研究センター
教授 野村 恭代 様

日時

令和4年 **10月28日**(金)
午後2時～午後4時

場所

淀川区役所5階会議室orWEB（TEAM5）参加
※ハイブリット方式で開催

内容

講師によるご講演・質疑応答
各関係機関との意見交換

★新型コロナウイルス感染症予防のため、会場消毒を実施します。
会場参加の方はマスク着用、手洗い、検温、換気にご協力をお願いします。

【申込み・お問い合わせ】

淀川区保健福祉センター 保健福祉課 健康づくり
（淀川区役所2階2室）

電話 06-6308-9882

主催：淀川区保健福祉センター
共催：淀川区民会連合・介護連携推進会議
淀川区役所市民協働課（防災担当）

令和4年度 認知症高齢者介護実践連携事業 / 大阪市上2区で医療・介護連携事業 - 多職種研修会

認知症の方の生活の中での意思決定支援

大正区の医師・歯科医師・薬剤師
医師・歯科・ヘルパー
みんなで集まる研修会

講師: NPO法人認知症の人と人々のサポートセンター代表
沖田 裕子
司会: 大阪市上2区助産会 理事
鈴木 昇平

大正区では認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進しています。
今年度は沖田裕子先生をお招きして、認知症の方の生活の中での意思決定支援について実践的な研修会を行います。
ご参加とは思いますか? ぜひご参加下さい。

日 付 令和4年7月25日(月)
時 間 14:00 ~ 16:00
場 所 株式会社藤井組 大正会館 ホール
zoomミーティング (定員 30名)

zoomで
参加するぞ

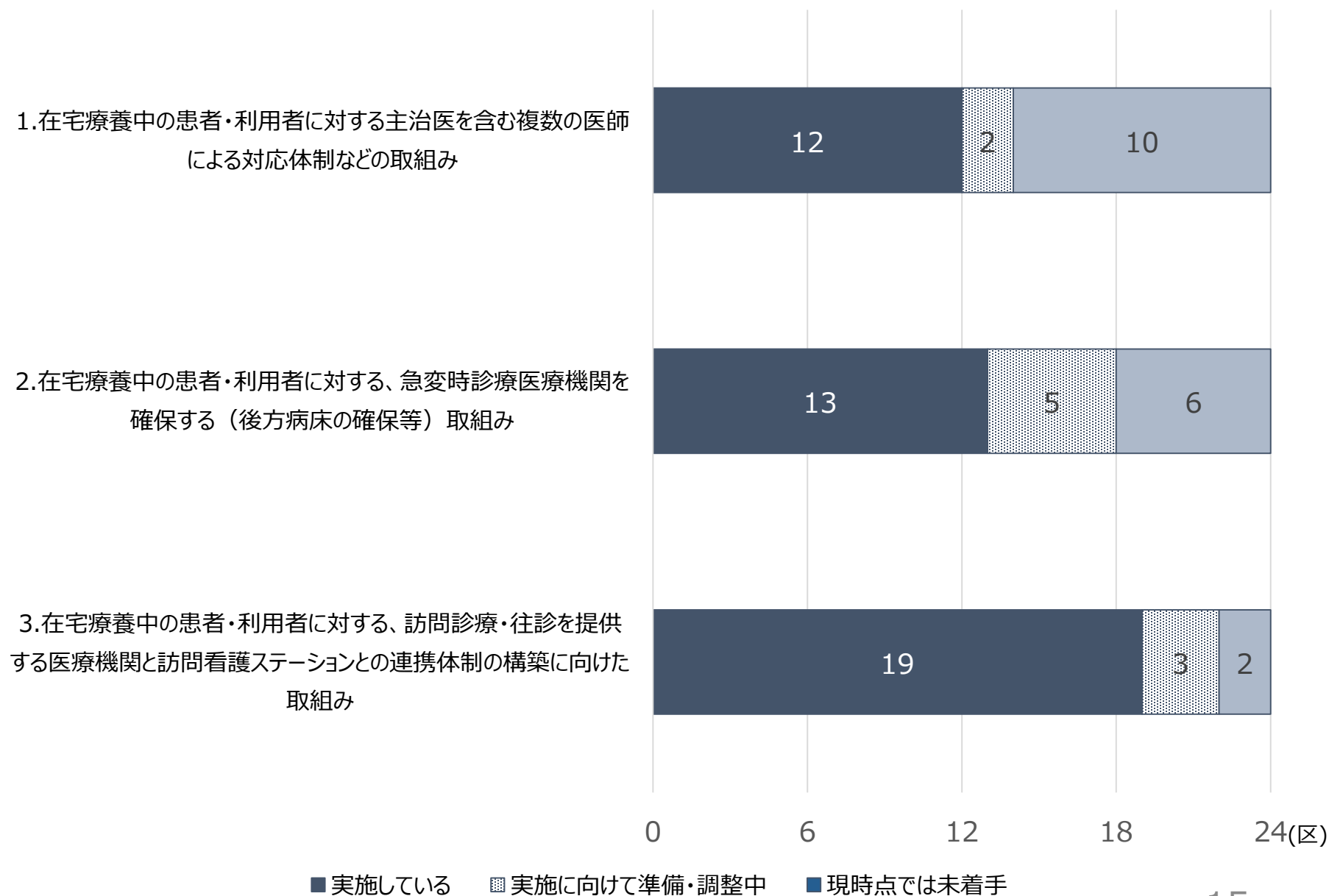
主催: 大阪市大正区役所・大阪市大正区医師会
共催: 大正区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会
大正区在宅医療・介護連携実務者会議

お問合わせ 大阪市大正区役所 保健福祉課 (担当: 船岡)
お申し込み 大正区在宅医療・介護連携相談支援室 (担当: 市川/川上)
(申し込み締切) 大正6 - 6551 - 2545

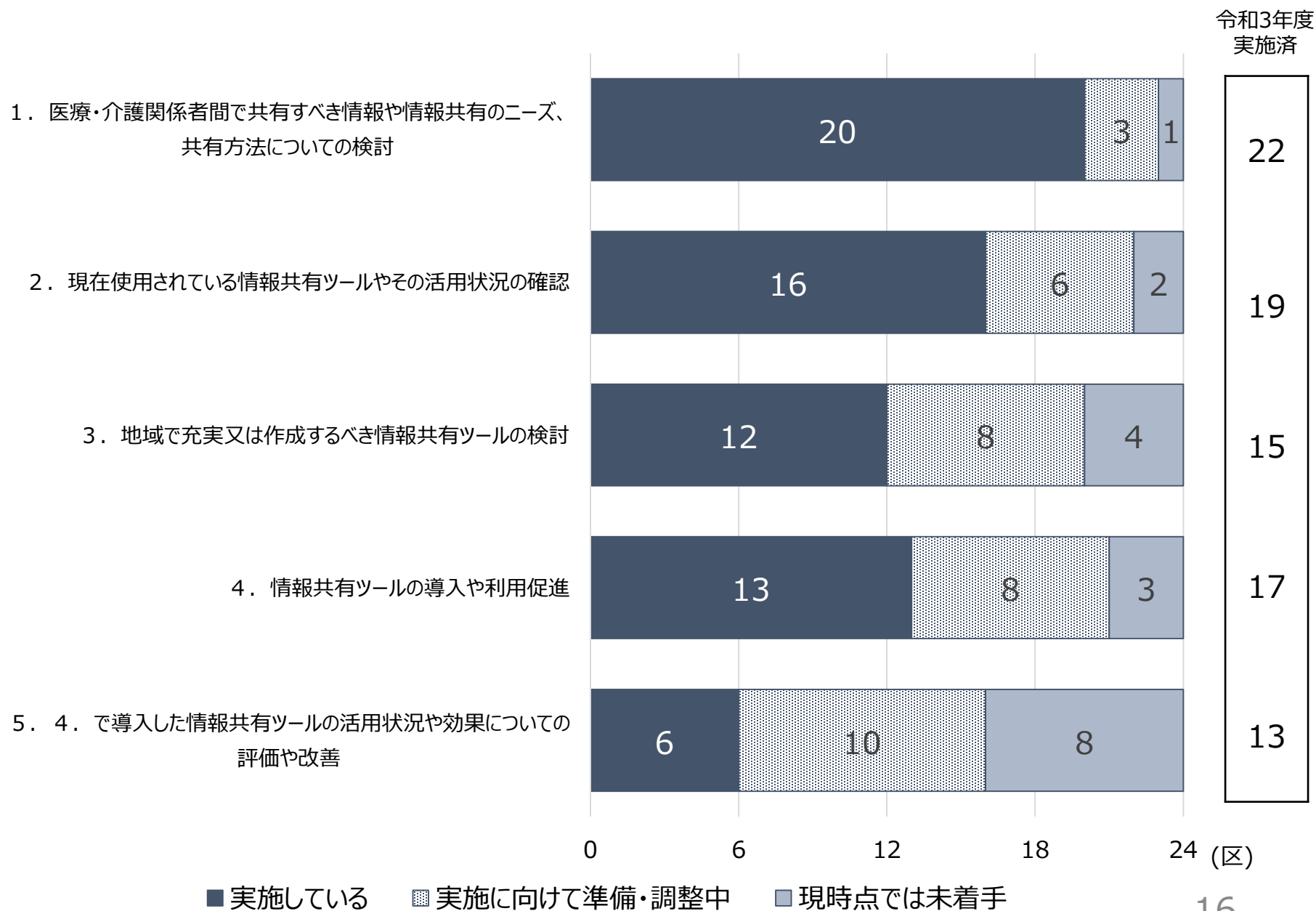
申し込みフォーム

Ⅱ．相談支援室の取組み

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進



(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

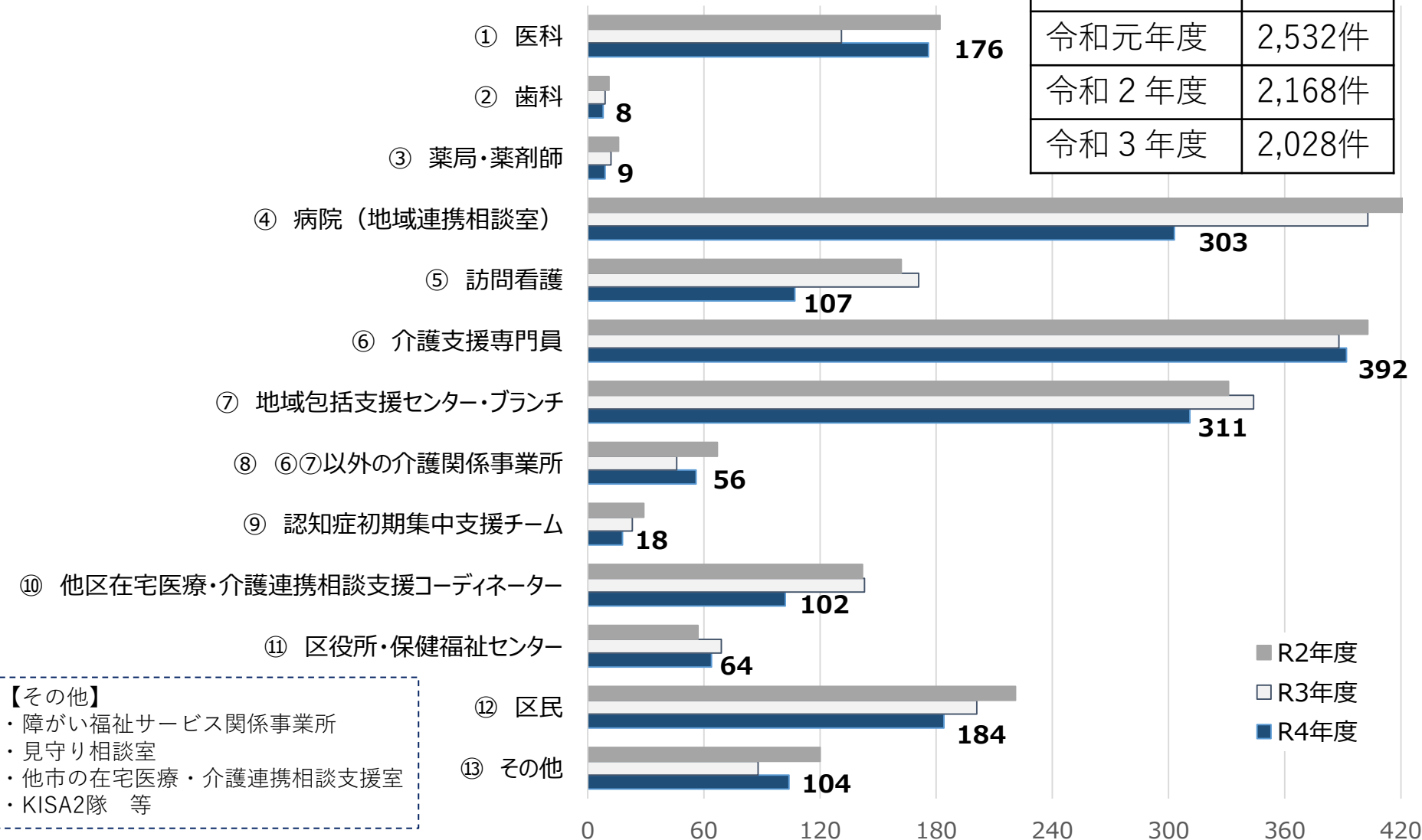


(才) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

個別ケース相談（相談者別内訳） 相談件数 1,834件

【相談件数】

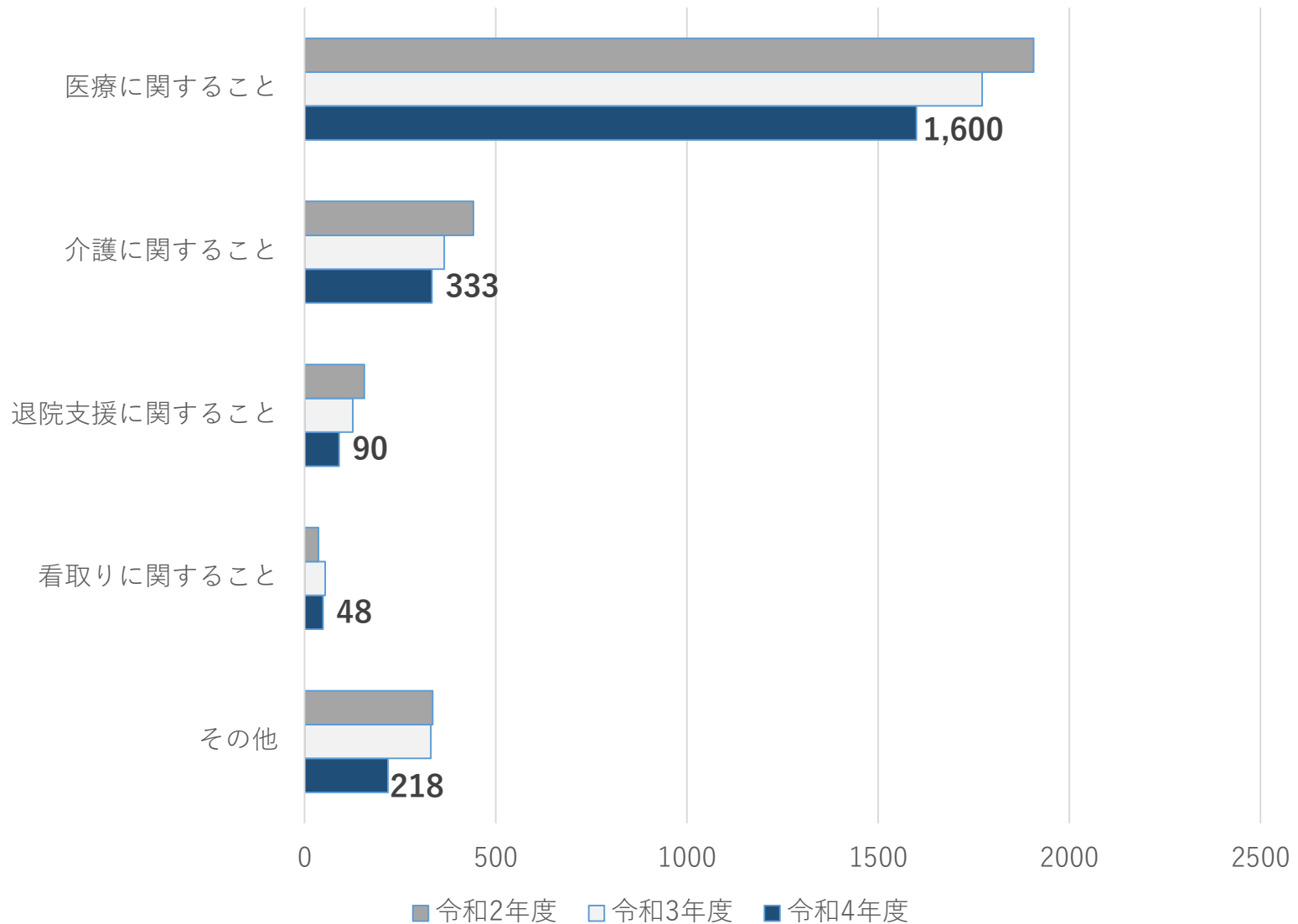
平成30年度	2,554件
令和元年度	2,532件
令和2年度	2,168件
令和3年度	2,028件



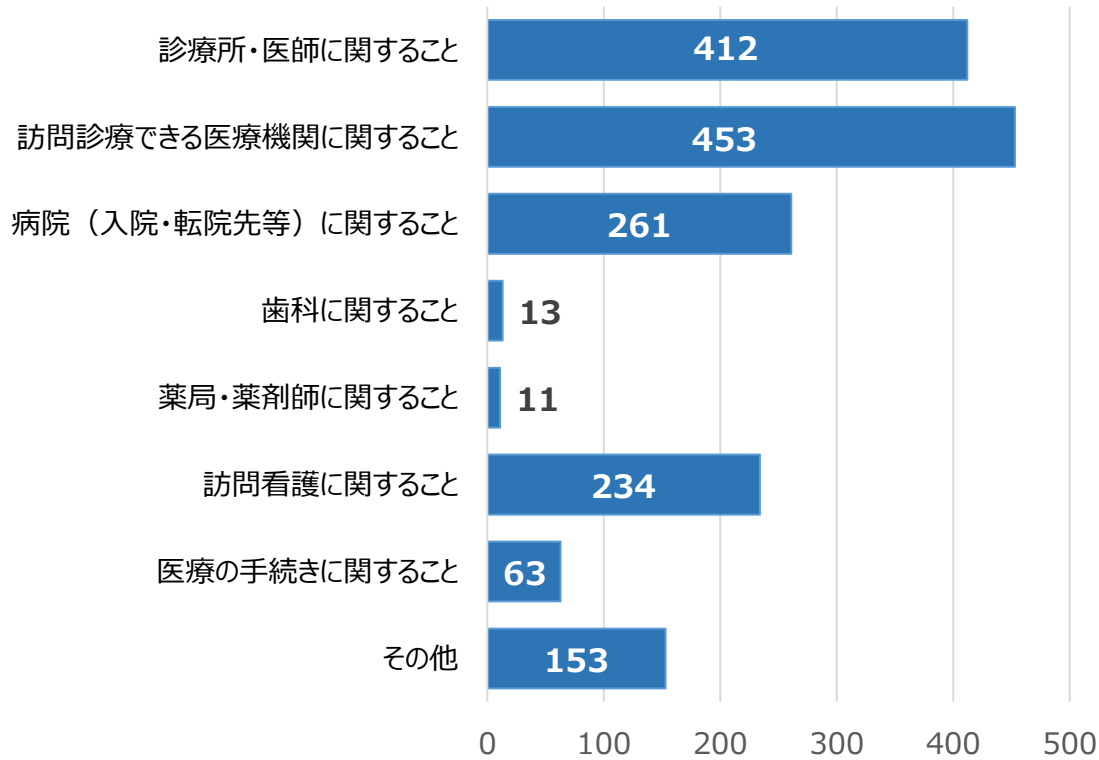
【その他】
 ・障がい福祉サービス関係事業所
 ・見守り相談室
 ・他市の在宅医療・介護連携相談支援室
 ・KISA2隊 等

病院（地域医療連携室）、介護支援専門員、地域包括支援センターからの相談が多い

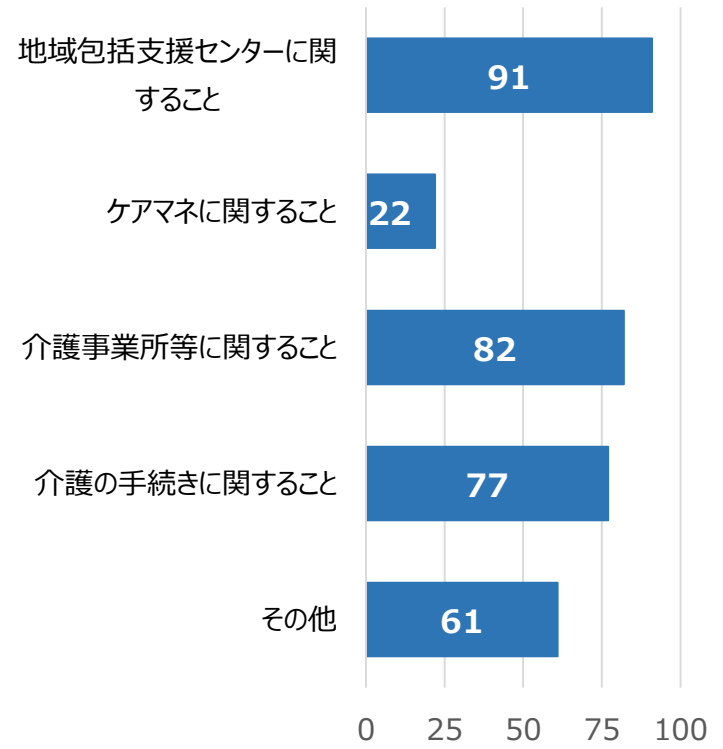
個別ケース相談（相談内容別内訳：複数回答）



【医療に関すること（内訳）】



【介護に関すること（内訳）】



会議・研修会等への参加

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
会議出席回数		2,012	2,120	579	1,896	2,213
内 訳	市・区の会議、研修会	721	727	186	615	778
	関係機関との会議、研修会	1,291	1,393	393	1,162	1,435
	（再掲）地域ケア会議	196	144	42	130	143

Ⅲ. 区役所・相談支援室 共通の取組み

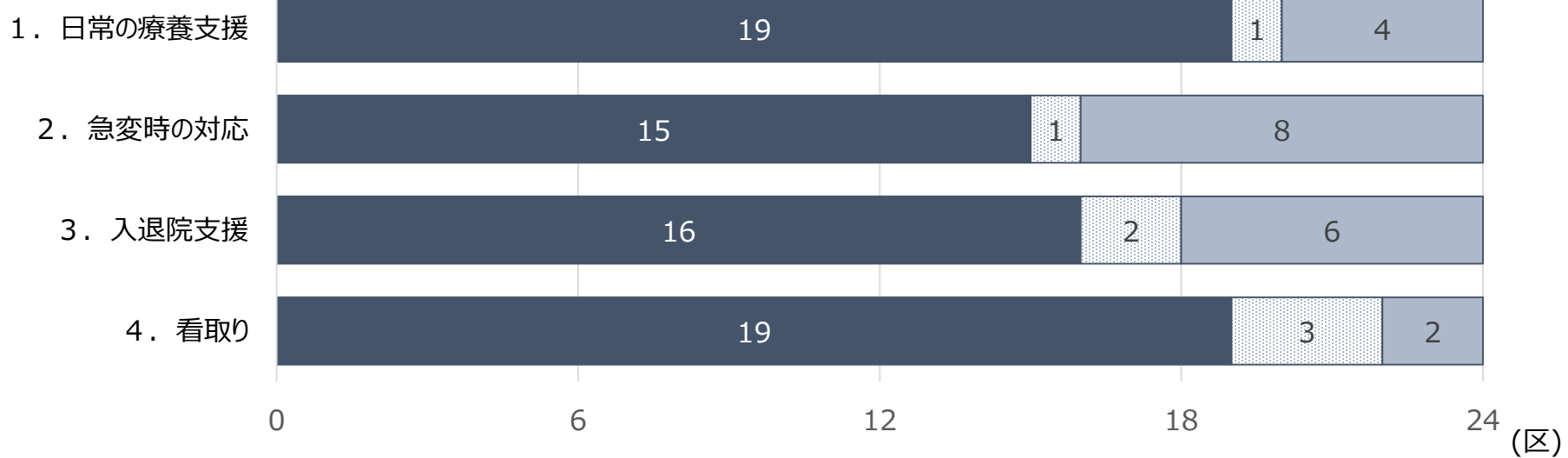
4つの場面ごとの「めざす姿」

在宅医療と介護連携イメージ（在宅医療の4場面別にみた連携の推進）

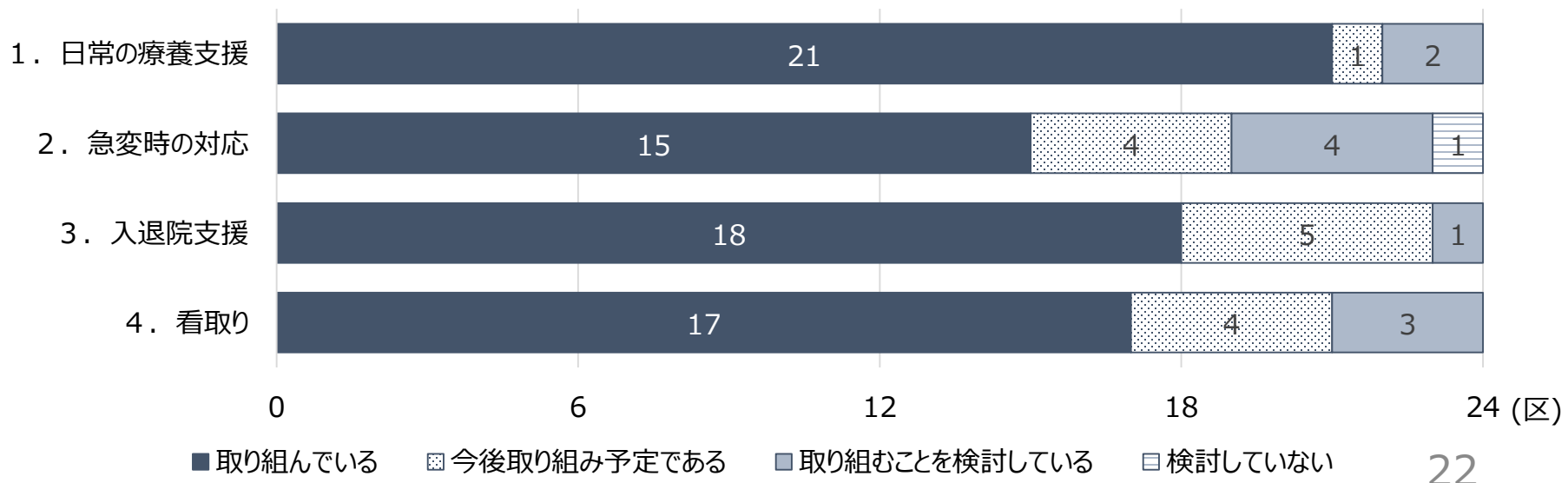


「4つの場面」を意識した取り組み状況について

【区】



【相談支援室】



「4つの場面」を意識した取り組み状況について

【具体的な取り組み】

日常の療養支援

- エチケット集（れんけいのチカラ）を作成し、スムーズな連携に繋げる（東成区・生野区）
- 認知症の人等の介護者（家族）支援ついで、専門職と一緒に話し合い、啓発ビデオを作成した（旭区）
- 生活支援課とケアマネジャーとの連携についての意見交換、在宅支援のための多職種連携強化のためのケアカフェ開催した（住吉区）

入退院支援

- 緩和ケア病棟の病院と訪問診療医との「緩和医療連絡会」の立ち上げに参加。2回開催し医師間の顔の見える関係づくりで連携を深め、末期患者の身近なレスパイト入院先としての周知ができた（福島区）
- 病診連携委員会を定期的を開催しており、区内診療所と近隣病院関係者で情報及び意見交換を行っている（浪速区）

急変時の対応

- 若い末期癌患者の緊急一時退院の相談が社協からあり、地域のケアマネジャーと福祉用具業者の協力で介護ベットの搬入ができ1泊だけ自宅に戻ることができた（福島区）
- 救急搬送時の救急隊との連携について多職種と救急隊との意見交換会を開催した（住吉区）

看取り

- ACP初の啓発としてVR看取り体験研修会を開催、専門職に看取られる立場を体感して頂き、今後の支援を考えて頂く機会とした（福島区）
- 区民向け講演会で「コロナ禍と人生会議」を開催した（淀川区）
- ACP推進サポーター養成講座の運営を支援した（城東区）